



みのり

第85号

経営理念 私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

花のように“優しく 誠実に”

龍
歳



年頭所感

年頭所感にて、理事長より挨拶がありました。その後、日出障がい福祉部、高齢者福祉部、杵築障がい福祉部の代表決意表明あり、その中より杵築障がい部の井上氏の文章を掲載致します。



白萩園職員を代表いたしました一言ご挨拶を申し上げます。

白萩園では昼の部は、生活介護・生活訓練・就労移行・就労継続の多機能型。

夜の部は入所支援としての新体系で二年目を迎え、地域福祉の中核として活動出来る様、日々頑張っている次第であります。昨年は、三月十一日にあった東日本大震災により、多くの方が亡くなられ悲しみに包まれていました。ですが、その悲しみの中、なでしこジャパンが強い団結力・チームワークを発揮し、見事女子ワールドカップサッカー世界一になり、明るい希望を日本に与えてくれました。そして二〇一一年の世相を表す漢字に「絆」が選ばれ「絆」と言う漢字を辞書で引くと、「人と人

との結びつき」として用いられていました。大震災では、生きる・助けると言う目的に向かったの「絆」。サッカーでは世界一と言う目的に向かったの「絆」でありました。

白萩園では、利用者さんを支援していくと言う目的に向かったの絆ではないでしょうか。

職員と職員が結びつき、一人一人の力では実現できない様な困難な目標を達成していく。つまり私たち職員に対し必要としていることは、「チームワーク」であり「組織力」であります。

村の基本方針である、無所得の奉仕・絶対の慈悲・不断の研究をかかげ、職員一人一人が福祉のプロであると言う意識を持ち、専門性の向上に努め、利用者さんを支援していくと言う目的を共有しチームワーク・組織力を高めていきたいと思っております。

今年で、みのり村も六十周年を向かえました。白萩園には、まだ元気に生活しています。

利用者さんの表情・行動・シワなどには、みのり村六十年の歴史が刻まれており、きれいに掃除される方、大きな声で挨拶する方、一生懸命作業される方といらっしゃいますが、その様な利用者さんの姿を見ると、利用者さんから学ばなければならぬ事がたくさんあると気づかされ、これからも学習していかなければいけないと思っております。

日々変化する社会情勢、年々変化する福祉政策に対応しながら、施設長を中心にチームワークをとり、職員一丸となって取り組む所存です。

最後に、諸先輩方・仲間の方皆さん、そして支えてくれる家族に対して感謝の気持ちを忘れず努力していきたいと思っております。

井上 竜 樹



挨拶する井上氏

平成二十四年度事業計画

平成二十四年度みのり村事業計画は次のようになります。

【短期目標】

○本部

- ・ワークライフバランス(WRB)
- ・職場内保育の再開検討
- ・メンタルヘルス室設置
- ・福利厚生センター加入

○事務課

- ・名称変更をしてガバナンス機能充実
- ・新会計基準への移行・人事管理PC化
- ・ホームページの充実
- ・DVD等によるプロパガンダ

○高齢者福祉部

- ・タン・吸引の実施
- ・看取りの実施
- ・デイサービスセンターのサテライト化
- ・介護予防拠点(有料老人ホーム+小規模多機能+介護予防)

○杵築障がい福祉部

- ・障がい福祉サービス事業所の立ち上げ
- ・農園：みかん、しいたけ、田んぼの生産効率化。ワークセンター「誠」との連携
- ・個別支援計画や栄養ケアマネジメントのパソコン確立
- ・高齢者対応の模索
- 日出障がい福祉部
- ・児童デイの法改正

○児童部門

- ・発達障がい児への療育相談機能の委託
- ・児童施設の方向転換の模索
- ・保育園等への訪問
- ・放課後デイの取り組み
- ・保育所訪問、日中一時支援等の整理、放課後施策、ヘルパー訪問
- ・GHしらゆりの老朽移転改築
- ・個別支援計画充実、ユニット処遇
- ・就労：工賃アップ、利用者の若返り

平成二十四年度事業計画

【長期目標】

- 一 ソフト面の充実
- 一 地域密着の福祉サービスの整備(寄り添う福祉)

【中期目標】

- 一 ソフト面の充実の為に組織の編成(総務企画課)
- 一 人材の登用(資格取得)・パソコンソフトの駆使
- 一 地域密着福祉

○障がい者部門

- ・GH整備、施設のユニット化
- ・販売路の拡充

○高齢者部門

- ・小規模多機能型施設や介護予防拠点の整備(サテライト)
- ・有料老人ホームの整備
- ・配食サービスの拡充
- ・ヘルパー養成事業実施

○児童部門

- ・発達障がい児への療育相談機能の委託
- ・児童施設の方向転換の模索
- ・保育園等への訪問
- ・放課後デイの取り組み



障がい福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」
4/1 開所予定

85号掲載内容

職員代表新年挨拶	1 P
平成二十四年度事業	2 P
寄贈	3 P
児童デイ落成式他	4 P
作品展	6 P
白萩園	7 P
菩提樹	8 P
地域活動	10 P
ボランティア	10 P

【寄贈】

電波時計台

六十周年記念事業

杵築部に時計台の設置が完了致しました。時計台は、創立六十周年記念で保護者会と職員が記念品としての贈呈品です。設置場所は菩提樹、白萩園の中央にあり、どこからでも時を知ることが出来ます。日出部の時計台とあわせて、七十周年に向かつて大きな一歩を踏み出した村の未来を見届けてくれることでしょうか。

ありがとうございます。



寄贈
創立60周年記念 屋外電波時計
みのり村保護者会・職員一同 2011年12月8日

【寄贈】保護者会・職員

東日本大震災復興支援事業

がんばろう日本!!
Tシャツ

東日本大震災復興支援事業において、「頑張ろう!! 日本 Tシャツ」を法人全職員が復興を願い着用、微力ながら支援金として協力させて頂きました。一日も早く、被災地の復興を、今こそ力を合わせ、この「頑張ろう!! 日本 Tシャツ」に願いを込めて、すべてのご利用者様に、私たちが出来る事を感謝の気持ちを持って接したいと思えます。



菩提樹の敬老会で「がんばろう」

祝 永年勤続表彰



永年勤続表彰者の皆さん

十二月八日第六十回創立記念日に永年勤続者に理事長より感謝状と記念品が贈呈されました。

- 三十年表彰者
樋田 親則 第一みのり学園
- 二十年表彰者
瞿曇 淳子 本部・菩提樹
- 十年表彰者
井上 竜樹 白萩園
齋藤 浩美 白萩園
荒木 志保 第一みのり学園
三浦 喜子 菩提樹
岩尾 梨加 プリンちゃん
大畑由香利 「風と樹々と空と」
武野由美子 白百合園

感謝 「菊飾り」

ご来園されるお客様も「ワァー!きれい」と立ち止まり、例年見事な菊飾りを展示させて頂けます小野様、丸尾様、有り難うございました。

【豆知識】写真の手前二本左右対称にある菊飾りは、懸崖(けんがい)作りと言います。磯菊が断崖の上から垂れ下がっている様を思わせるのでこの名前が付けられました。長さによって一八〇センチ以上を大懸崖、一〇〇センチ以下を小懸崖、その中間を中懸崖と呼びます。…なるほど…



見事な菊飾りです

児童デイサービスセンター「プリンちゃん」

落成並びに開所式

〔開所式挨拶文〕

本日ご多忙のところ、ご来賓の方々をはじめ、多くのご出席をたまわり、「プリンちゃん」の新築落成ならびに開所式が本日できますことを、大変うれしく思います。又、設計並びに施工をお願いいたしました関係者には、工期の短い中での工事で無理を申し上げますが、深く感謝を申し上げます。

今年法人創立六十周年の年に当たるため、記念式典を四月に催し、そして記念事業として、この児童デイサービスセンターの建設を考え、このたび落成することができました。

この記念事業を児童デイに決定した理由は、みのり学園の日中一時支援事業によるご利用者がたいそう多くなってきたことと同時に、入所施設の方々と一緒の生活によりご利用者の方々にけでなく職員もお互いが良い影響を授受出来ない環境を避けるためでもあります。また近辺からのニーズや相談も増加しており、その為建設場所を模索していたところ、当初は隣の交流ホールをそれに充てたいと思いついたが、県と協議した結果、新たに造っていただけばとの御指摘により、もう一度創立時の原点である児童の療育に力を入れるために、法人独自で可愛い、皆様から愛されるデイサービスセンターをこの地



「プリンちゃん」落成式

に建設することに決定致しました。

又、来年度より児童福祉法も大きく改正され、この児童デイサービスセンターは、児童発達支援センターと変わり、このプリンちゃんの役割は更に大きくなり、日出町には無くてはならない障害児の療育のセンターとなると確信いたしております。

「プリンちゃん」の由来を申し上げますと、プリンには赤ん坊からお年寄りまでの誰もが好み、知らない人は無いほど子供たちの人気のおやつです。そのプリンにあやかって広く皆様に周知していただいで、利用するお子様ご本人が

みのり村作品展

十一月三十日から十二月四日まで、大分市アートプラザで第七回みのり村作品展「扉を開いてください」あふれる思いをのせて かがやく命」が開かれました。作品展も今回で七回目となり、多くの

の方々が見学に来ていただきました。利用者の方々の作品を見て、「心が癒された」「元気をもらいました」などと多くの感動の言葉を頂きました。

週一回のクラブ活動の時間の中で、作り上げられた作品はどれをとっても利用者の方々の思いが込められた作品ばかりでした。また、色とりどりの手形の作品「みんなの手」では、利用者の方や職員、三〇〇人以上の方の協力がありました。一つの作品を作り上げることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

今回の作品展も暖かい空間が会場を包み込む、みのり村らしい作品展を開催することができました。ありがとうございました。

白萩園 野々下



あふれる思いをのせて かがやく命

作品名「みんなの手」

この建物を大好きになって、友達感覚で、またプリンちゃんに遊びに行きたいと気軽に思っていただけのようにとの想い・願いからであります。誰からも愛されるデイサービスセンターになるように、そして保護者の皆様からここに預けてよかったと信頼していただけるようスタッフには努力してもらいたいものです。又、努力を惜しまずに、花のように、「優しく誠実に」をスローガンに、みのり村の保育士であるという誇りと自覚を持ち頑張ってください、期待しております。

ここをご利用される子供さん方には、「明るく、元気で、たくましく」をモットーに運営をしたいと考えます。その為この建物は可能な限り自然素材を主とし、床にはヒノキ、腰板には杉を使用し日々の生活の延長線上である、自宅に帰ったような空間にしたいと考え、指導訓練室は二つに分けました。ひとつは、障子を入れ、畳を敷き、自宅にいるかのようにくつろいだ中での療育の部屋として、ただし畳を



指導訓練室 I



指導訓練室 II



明るい広々とした空間

はずすことでホールと一体に使用可能となります。もう片方のホールは室内であつても体を使った運動や遊びのびのびとできるように、ぶら下がり棒やフック等も設置した空間にいたしました。玄関の軒や天井も家庭らしいイメージにしました。更には、衛生面にも配慮し、シャワー室を設け、手洗い場も玄関以外にも四箇所と多く設置しております。

外のテラスでは、隣のみのり学園と、交流可能となるように、更には学園前の芝生で、遊具を使って遊べるように、出入り口を設けています。

どうぞ、この愛くるしいプリンちゃんを、いつまでも地域の資源として大いに活用していただければ幸いですと考えます。

本日は落成ならびに開所式に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

平成二十三年十月一日(土)

理事長

ようこそ 高齢者ホームへ

昨年の十二月一日(木)より、栃原さんと中尾さんがみのり村村築部での生活を始めました。共に七十代です。これまでお二人は、日出町大神のグループホームしらゆりで生活をしていました。高齢になったことと「これからは静かにのんびり暮らしたい」とお二人が希望されたことで、法人内の高齢者ホームへの入居が決まりました。

栃原さんは、長年、洗濯などの仕事をしてきました。当時と比べると健康に少し不安を感じるようですが、まだまだお元気で、高齢者ホームでも洗濯機を使ったり、箒で掃いたりなど、自分の出来ることは自分でし、同居の中尾さんのこともとても気に掛けています。

中尾さんは、とても優しい性格でいつも穏やかな笑顔が印象的な方です。視力に少し不安がありますが、栃原さんと同様に自分で出来ることは自分ですようとしています。栃原さんが服を着た際に中尾さんが襟元をきれいに整

えている姿を見ました。お互いに助け合っているようで微笑ましく感じます。

お二人は、障害福祉サービスとデイサービスを利用しています。生活するところと活動するところのメリハリが生きがいにもつながっているように感じます。

「感想をお聞きしました所、「静かでもいい」と笑顔を見せてくれました。

これからも、高齢者ホームに来て良かったと思ってもらえるように、ケアマネやヘルパー、支援員皆さんの力を借りながら、さりげない援助を続けて行きたいと思えます。

(河野)



デイサービスも近くて便利です



2棟(2LDKバストイレ付)

プリンちゃん

オープン

法人創立六十周年の記念事業として、児童デイサービスセンター「プリンちゃん」を落成、オープン致しました。お家ですごしているような安心感とお母さんと一緒にいるような温もりを大切に「明るく、元気で、たくましく」をモットーに運営して参ります。

児童デイサービスセンター

プリンちゃん



「プリンちゃん」全景 23/10/1 オープン

絵画教室、多目的ホールへ移動

この度、就労作業棟が完成したことにより絵画教室は多目的ホールに移動することになりました。

絵画クラブは現在約二十名で活動していますが、旧保育園のときは二部屋を使っていたので部屋を何度も行き来しなければならず、目が行き届かない部分がありました。大部屋でスペースが広くなり、支援者にとっては全ての利用者さんの行動を見ることが出来るのでスムーズに支援が出来るようになりました。また利用者さん達もいつもの画用紙に描いてもらうだけでなく、ペニヤ板などを使って大きな作品を作ったりと、今まで出来なかった物を作る喜びを感じながら毎週活動

しているようです。

今までと違い、場所が少し離れ、移動訓練が可能となった為、利用者さんも楽しい活動ができるように、安全に配慮した支援に心がけていきたいと思

います。
支援員 森崎



就労支援作業所落成式

就労支援の日中活動の場として食堂、三つの作業室、事務所、相談室を併設する新しい建物として完成。理事長、他関係者をお招きし落成式が行われました。式の後の施設内見学では南向きの明るく広い空間に落ち着いた内装、思わず「すごいなあ」という声が聞かれます。

ならないと考えます。

就労支援B型チーム

初心を大切に、個人ではなくチームとして更に活動できるようなり、利用される皆様に満足していただけるよう努力していかなくては



作業所を見学する利用者さん



式模様

頑張つて下さい

津田美里さん

平成二十二年八月末日、大きな荷物を抱えお母さんと一緒に来園する。津田美里です。よろしく願います。健康そうな体形、行動的な動作。正面を直視し、物怖じしない立ち姿、緊張を感じさせない落ち着いた表情、そして聡明な顔立ち。これが、津田さんの第一印象でした。

津田さんは、実習で山梨県から杵築市にきました。地元の短大を卒業し、車の免許も取得しています。白萩園にきた目的は、「人のお世話をしたい。」と言うことでした。

敷地内の住宅を借り、村内での生活が始まりました。施設には障害を持たれた沢山の利用者や職員がいます。うまく人間関係を保つことがとても重要になります。これまで、引きこもりがちだった為に、一人で過ごすことが多かった美里さんに、少々戸惑うことも多かったようがありますが、生活に慣れるにつれ、人との関係作



実習を終えて



ふれあい体育祭にて

りを学んでいったように感じます。時が過ぎるにつれ、職員のお手伝いや敷地内の環境整備などを黙々と作業することが出来るようになりました。慣れない地での生活でしたが、気が付けば一年が過ぎ、すっかり大分県人に染まったように感じました。

平成二十三年九月末日、お兄さんが迎えに見えました。実習終了です。名残惜しくも感じましたが、美里さんの次のステップのため、利用者の皆さんと共に送りしました。

津田美里さん、お疲れ様でした。ここからの人生が津田さんにとって幸多かれとお祈りします。

(河野)

菩提樹

茶房「茶々」

毎月一回の開催を楽しみ
にしており、二十名以上の
方のご利用がありますが、
季節毎の趣向をこらした会
場で昔の歌謡曲などをBGM
に、コーヒーや紅茶、ココ
ア、日本茶など好きなメ
ニューを選んでいただき過
ごしていただいています。



茶々の会場はギャラリーです



「レコード」を聴きながらお楽しみ下さい

お菓子も数種類の中からご
自分で選んでいただき、ゆつたりとし
た雰囲気の中味わっていただいでいま
す。冬はストーブでできあがった焼き
芋も登場、そのおいしさでびっくり顔
や笑顔が咲きました。とつぜん始まる

JKAより福祉車両助成

財) JKA様の補助事業により福祉
車両が整備されました。

十二月一日「平成二十三年度 財団
法人JKA 公益事業振興補助事業」
により特別養護老人ホーム菩提樹に、
車いす対応リフト付送迎車両が整備さ
れました。法人職員一同心から感謝致
します。同施設では平成六年五月より
利用者様の送迎に使用している車両に
ついて、老朽化対策として車両の買換
え計画をしていました。補助対象事業
の通知を頂いた時は、「感謝」でした。
利用者様もたいへん喜んで下さいまし
た。ありがとうございました。



定員 10名 (うち車いす2台)

設備車両…ニッサンキャラバン
総事業費…3,200,000
補助金額…2,250,000

別府音頭や詩吟、昔取った杵柄よろし
く身振り手振りもあざやかにご利用者
の顔が童心に帰ります。今後も利用者
様のご要望を取り入れながら、工夫を
重ねていきたいと思ひます。

お抹茶会

毎月の「お抹茶会」では、工夫を凝
らした飾り付けと手作りのお菓子や抹
茶は毎回好評で、楽しみにしていられ
しゃる方も多いようです。会場では
折々の花を眺めたり、馴染みのご利用
者様や職員と歓談したりしながら、皆
様ゆつたりと過ごされています。

さて、みのり村の敷地内には桜の森、
銀杏並木、つつじ園などが
ありますが、菩提樹の利用
者様には頻りに屋外を散策
することが困難な方も多く
いらつしやいます。屋内中
心の生活でも単調にならない
ように、年中行事やレク
リエーション等を施設全体
で、またユニットごとに実
施していますが、お抹茶会
もまた菩提樹における生活



「竹に浮かぶコスモス」お見事です



「池に浮かぶ紫陽花」お見事です

を彩り豊かなものになっています。屋内
にいながらにして季節の移ろいが感じ
られます。
また、ユニットを超えての集いで
すので、普段なかなか顔を合わせないご
利用者様どうしで会話をするなど、ふ
れあいの場にもなっています。職員一
同、皆様の笑顔を拝見するにつけ、こ
の行事の意義を実感しております。

河合

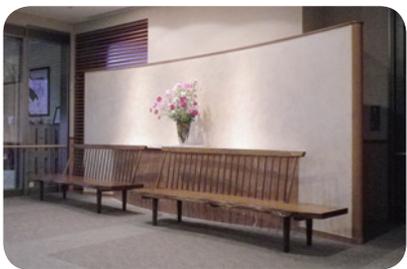
七年を経て見事再生

大切にしたい「椎木の椅子」

昭和二十六年、みのり学園は大神村
の「みのりの丘」に開園され、丘にあ
る椎の木と共に成長してきました。昭
和三十七年に白百合園が設置され、平
成十一年にはみのり学園の児者分離に
よる第一みのり学園、第二みのり学園
の分園化も行われました。平成十六年
にみのり学園全面改築時に惜しまれな
がら数本伐採され再生されることを願
い続けましたが、七年を経て重圧感あ

る椅子に復
活すること
が出来まし
た。この椅
子をみると
園児がこの
椎の木の下
で、どんぐ
りを拾う姿
が浮かんで
きそうです。
大事に使わ
せていただき
ます。

平成二十三年十月



大切にしたい「椎木の椅子」

地域活動「慈愛・奉仕・研究」

杵築障がい福祉部



ゆめいろ
マーケット
別府ゆめタウン
買物学習



きのみフェスタ
ひよっとこクラブ参加



杵築市委託草刈作業



野田区運動会参加



溪泉まつり実習見学



杵築警察署による交通講和、実地研修



きつきボランティア祭り参加



高齢者文化祭作品展示

高齢者福祉部

本部

交通安全街頭指導



“絆”ふれあい体育祭



さんまを食べよう会



防災訓練



杵築市ボランティアまつり「それいけ玉入れ」

日出障がい福祉部



H23
日出産業まつりの
様子



外部講師による生花クラブ



バスハイク実習



社会見学
(山香農業文化公園)



敬老の日 さざんか保育園慰問



あったかちゃんこ
チャリティーショー参加

社会見学
(うみたまご)



社会見学
(つくみ体験パーク)



敬老会 デイ



敬老会 後村地区



敬老の日 デイ



敬老会 菩提樹



七夕飾り 大神駅



体育祭



車イスアスリート交流会



日出文化祭



大神地区ふるさと祭り



第2みのり 夏の外出行事



第2みのり バスハイク

ボランティア

お餅・可愛いお歌のプレゼントに感謝
 今年一月二十一日杵築市のジェイデー
 バイス労働組合さんの地域貢献事業
 で、同組合員、杵築幼稚園の園児、保
 護者の方々と餅つきをされたお餅が、
 菩提樹デイサービスのご利用者様にも
 園児から手渡されました。可愛い歌も
 歌もプレゼントされ「可愛いなー」と
 大変喜んでいました。ご利用者様を代
 表して小石宜治様が感謝の挨拶をされ
 ました。園児はお菓子とジュースをご
 褒美に元氣よく施設を後にしました。
 有り難うございました。

○来訪・視察

平成二十三年十一月十五日
 鹿児島県始良市地区民生委員・児童
 協議会 八十名様

【総合福祉ケアサポートセンター みのり村】

- 障がい児から就労そして老後までの安心トータルサポート**
- 菩提樹(ユニット型特養)
 - デイサービスセンター「風と樹々と空と」
 - 居宅支援事業所 ぼだいじゅ
 - ヘルパーステーション ぼだいじゅ
 - 菩提樹ショートステイ
 - 配食サービス
 - 在宅介護支援センター
 - 第1みのり学園(児童)
 - 児童デイサービスセンター「プリンちゃん」
 - 第2みのり学園(成人)
 - 白百合園(成人女子)
 - 白萩園(成人)
 - みのりスマイル(就労)
 - ワークセンター「誠」(就労)
 - グループホーム みのり村
 - 障がい者生活支援センターみのり
 - 障がい者生活支援センターしらはぎ



杵築幼稚園の皆さん

バイオリン・フルート・ピアノのコラボ演奏会

菩提樹では今回三回目となる清原尚
 子さん百合乃さん親子と「^{かがみ}耀の会コ
 スモスグループ」四名とのジョイント
 コンサートがありました。

小学一年生の
 ドレス姿の可愛
 らしい百合乃さ
 んの演奏が始ま
 ると、素晴らし
 い音色にご利用
 者様はうっとり、
 知っている曲で
 は手拍子しなが
 ら口ずさんでい
 ました。有り難
 うございました。



重厚で美しい音色に“うっとり”

平成24年 みのり村カレンダー



【完売のおしらせ】

ご好評を頂き完売いたしました。
 ご協力誠にありがとうございました。
 作品展実行委員会

ボランティア募集中。

利用者さんと楽しいおしゃべり、
 お世話などコミュニケーションをさ
 れませんか、いつでも受け付けていま
 す。御連絡お待ちしております。

【編集後記】

年末年始になると、自然と目標や
 抱負を考えなくなるのは、今の自分
 の弱い部分を補い、自らを成長させ
 たいという願いからだろうか。自分
 を成長させるためには、日常生活、
 日常勤務の中でコミュニケーション
 を通じての方が多と思う。それは
 自分がどういう環境にたっているの
 かで、自ら考え、アドバイスをもら
 い、そして社会貢献していく。いず
 れにしても多くを経験することだろ
 う。前年度目標のパート2のような
 「継続型」は繰り返したくない。新
 たな挑戦が始まり、福祉法人の一職
 員として自らの行動が社会貢献につ
 ながるように、自らの質を高めたい。
 ABE

編集・発行／本部総務課

〒八七三〇〇一三
 大分県杵築市大字日野一九二一七
 TEL 〇九七八一六六一二〇〇
 FAX 〇九七八一六二二一九七四
 URL <http://www.minorimura.or.jp/>
 E-mail info@minorimura.or.jp

(写真掲載等には、ご本人様の
 了解を得ております。)